



センス・オブ・ワンダーの
心で楽しむ、おさんぽ

- ①日常のことは一時忘れて
リラックス。静かな心で出
かけましょう。
- ②お散歩中、子どもが「やり
たい」気持ちを大切に、大ら
かに見守りましょう。
- ③子どもの驚き、喜び、わ
くわく…に心を寄り添わせ
ましょう。

コオロギ

真夏の暑さが続く中、いつの間にか
秋の虫たちが鳴き始めました。おさん
ぽコースの草むらでもコロコロという
エンマコオロギの音が聞こえるかも。

クリ

瀬戸岡古墳群には栗の木が
多く、そろそろ実が熟して枝
から落ちてくる時期です。触
ると痛い栗のイガは、種（食
べる部分）が育つまでの間、
虫を除ける役目を果たしてい
るとか。確かに、熟した実は
イガが割れてしまうので、動
物除けにはならないようです。

第86回おさんぽ会（瀬戸岡歴史環境保全地域）

★令和6年9月8日（日）はれ

参加者：4組13人

雑木林の
お散歩



☆参加者の感想（抜粋）

子どもの様子は？	・バッタを虫かごに入れてもらおうと嬉しそうに見ていた。絵本で見ていた栗、はじめて本物に触れて楽しんでいた。（男・2才） ・大人でも日差しが強くて暑かったですが、よく歩いてくれました。（男4・男2才） ・風景をみたり、虫をみたり、楽しそうでした。（男1才） ・久しぶりのおさんぽ会に参加できるのを楽しみにしていました。沢山虫を見つけたり、木の实をとったり、貴重な体験が出来たと思います。（無記名）
保護者の方は？	・はじめての栗探し、とても楽しかったです。おいしく頂きます。（男・2才） ・くり拾い楽しかったです。（男4・男2才） ・初めての場所で新鮮でした。栗拾いが楽しかった。（男1才） ・友達と一緒に歩いたりしている様子がみられて良かったです。（無記名）

※ 今回は、所有者の方のご厚意で特別に栗拾いをさせていただきました。

（環境委員会森のようちえん部会、あきる野市環境政策課）